

新漁業管理制度推進情報提供事業－Ⅲ

定置網漁獲統計調査

山川 卓・久野正博

目的

定置網に関する漁海況情報を詳細に蓄積して情報処理と伝達の迅速化を図ることにより、漁況予測を行うための基礎資料とする。

方法

対象漁場：県内15統のブリ定置漁場（図1）

調査年度：平成9年度（平成9年10月～平成10年7月）

調査項目：魚種別漁獲量、水温、透明度、流向

結果

詳細については平成9年度（平成9年10月～平成10年7月）三重県ブリ定置漁獲統計で報告したので、以下は概略を記す。

調査漁場全体の魚種別漁獲量を表1に示した。本年度の集計では従来からの「マイワシ」「カタクチイワシ」「ウルメイワシ」の魚種区分に加えて新たに「イワシ類」を設け、魚種が特定できないものや「混じり」を別途集計するようにした。従来の統計表では「イワシ類」は「マイワシ」に含めて集計されていたが、近年のマイワシ資源の減少に伴って「マイワシ」の区分に占める「イワシ類」の影響が無視できなくなってきた。

平成9年度の総漁獲量は4,510トンで前年度比92%であった。魚種別ではワラサが676トンと最も多く全魚種の15.0%を占めた。次いでマアジ535トン、カタクチイワシ442トン、マルソーダ419トン、シイラ407トン、ブリ386トン、サバ278トン、イワシ類139トン、スルメイカ94トン、ウルメイワシ93トン、カマス80トンであった。漁獲量10トン以上の魚種の中で前年度と比較して漁獲が増加したのはマルソーダ（前年度比9.6倍）、ヒラソーダ（同4.6倍）、カマス（同3.7倍）、その他アジ類（同3.6倍）、タチウオ（同2.5倍）、シイラ（同2.2倍）、ヨコワ（同2.1倍）、スズキ（同1.8倍）、フグ類（同1.8倍）、ワラサ（同1.7倍）、ヒラマサ（同1.7倍）、ブリ（同1.3倍）、ウルメイワシ（同1.3倍）、カタクチイワシ（同1.2倍）、カワハギ（同1.2倍）、メジナ（同1.1倍）であった。逆に減少した魚種はヤリイカ（前年度比18%）、イナダ（同21%）、マイワシ・イワシ類（同29%）、サバ（同33%）、カンパチ（同34%）、トビウオ（同42%）、スルメイカ（同48%）、その他イカ類（同49%）、ウマヅラハギ（同71%）、その他ハギ類（同71%）等であった。

表2にはブリ銘柄別漁獲量の年変化を示した。ブリ（6kg以上）の全漁獲尾数は44,631尾（尾数前年度比1.28倍）で、低水準であった前年を上回った。ブリのまとまった入網は1月～3月にみられ、1月5,038尾、2月13,521尾、3月21,719尾で、この3ヶ月間で全体の90%が漁獲された。4月の漁獲尾数は1,594尾と少なかった。全漁

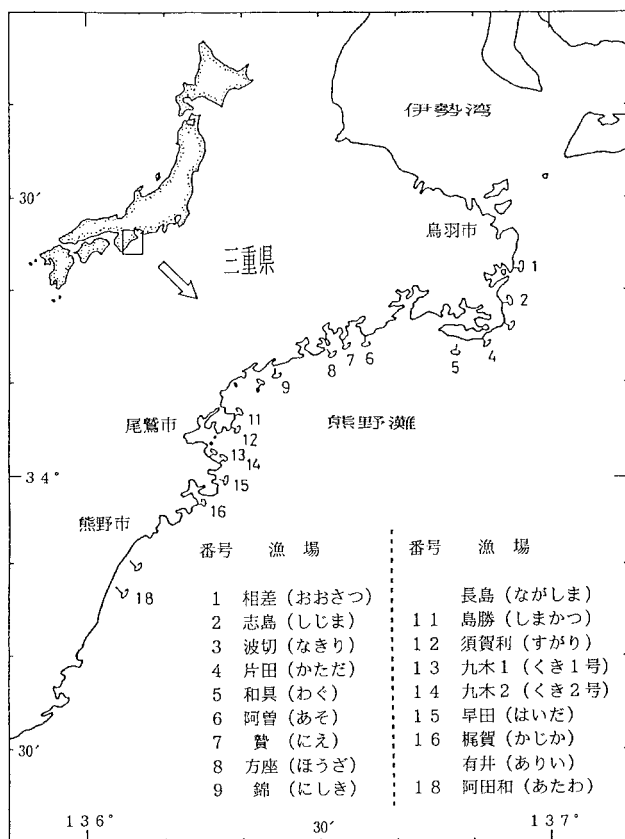


図1 定置漁場位置

表1 全漁場魚種別漁獲量 (1997年10月～1998年7月)

順位	魚種名	漁獲量(kg)	相対度数(%)
1	ワラサ	675,892	14.986
2	マアジ	534,953	11.861
3	カタクチイワシ	442,314	9.807
4	マルソーダ	419,373	9.299
5	シイラ	406,868	9.021
6	ブリ	386,062	8.560
7	サバ	278,194	6.168
8	イワシ類	138,710	3.076
9	スルメイカ	94,194	2.089
10	ウルメイワシ	92,951	2.061
11	カマス	79,819	1.770
12	タチウオ	69,569	1.543
13	イサキ	69,239	1.535
14	ヒラソーダ	63,608	1.410
15	イナダ	59,445	1.318
16	その他アジ類	56,812	1.260
17	その他イカ類	46,542	1.032
18	マイワシ	40,098	0.889
19	イシダイ	36,880	0.818
20	ヒラマサ	36,871	0.818
21	カワハギ	32,880	0.729
22	フグ類	31,010	0.688
23	マダイ	28,441	0.631
24	ウマヅラハギ	21,559	0.478
25	スズキ	19,863	0.440
26	トビウオ	16,733	0.371
27	その他ハギ類	14,600	0.324
28	メジナ	12,667	0.281
29	ヨコワ	11,485	0.255
30	カンパチ	11,478	0.254
31	ヒラメ・カレイ類	8,811	0.195
32	ボラ	6,109	0.135
33	ムツ	5,487	0.122
34	ヤリイカ	4,976	0.110
35	マグロ類	3,621	0.080
36	ハガツオ	2,889	0.064
37	カジキ類	2,177	0.048
38	サワラ	1,232	0.027
39	シマアジ	23	0.001
40	その他雑魚	245,587	5.445
合 計		4,510,024	100.000

場合計の日別の最高は2月23日の5,326尾、次いで3月4日の4,094尾、2月26日の3,633尾で、2月下旬から3月上旬に漁獲量の多い日が集中していた。1漁場の日別の最高は錦の2,956尾(3月4日)であった。錦以外では片田の2,143尾(2月22日)、須賀利の1,958尾(2月23日)、相差の1,849尾(3月17日)などが日別では多かった。

ワラサ(2～6kg未満)の全漁獲尾数は148,757尾(尾数前年度比158%)で、平成6年度には若干及ばないものの、昭和40年度以降で2番目の漁獲尾数を記録した。これは前年度のイナダの好漁が引き続き反映された結果であると考えられる。魚種別での漁獲量(表1)でも最高であった。漁場別では和具の46,995尾が最高で、次い

表2 ブリ銘柄別漁獲尾数の年変化 (昭和50定置年度以降)

定置年度	ブリ	ワラサ	イナダ
50	116,766	39,340	15,529
51	59,202	8,859	13,618
52	32,942	23,197	17,081
53	56,314	33,722	28,522
54	26,676	42,943	57,647
55	30,174	48,547	45,857
56	42,835	42,212	42,027
57	50,182	20,012	23,677
58	61,493	29,445	86,242
59	35,588	28,682	91,930
60	51,428	90,790	75,805
61	57,365	30,346	71,282
62	45,568	58,619	52,923
63	29,482	23,913	212,372
1	48,452	141,790	106,244
2	23,531	95,668	69,701
3	40,233	120,464	60,153
4	39,515	116,342	103,796
5	95,229	80,803	149,086
6	52,901	157,425	29,764
7	61,474	90,118	25,090
8	34,920	94,161	228,612
9	44,631	148,757	55,462

で梶賀の19,006尾、贄の17,270尾が多かった。ワラサのまとまった入網は10月、11月および2月～5月にみられた。とくに4月には梶賀の13,398尾、早田の11,033尾、九木1号の9,444尾、和具の9,165尾など、各地でまとまった入網がみられた。その他では和具の10月(10,178尾)と2月(18,593尾)、贄の11月(15,590尾)が月別では多かった。なお、1漁場での日別の最高は和具の6,152尾(2月13日)であった。

イナダ(2kg未満)の全漁獲尾数は55,462尾(尾数前年度比24%)で、昭和40年度以降で最高の漁獲尾数を記録した前年度の漁獲尾数を大きく下回り、ほぼ平年並みの水準となった。月別では10月(21,813尾)、11月(9,270尾)と2月(13,630尾)の漁獲尾数が多かった。漁場別では方座の14,090尾、相差の14,016尾などが多かった。

ブリ以外の主要魚種であるマイワシ・イワシ類、マアジ、サバ類の漁獲量の経年変化を表3に示した。マイワシ・イワシ類の漁獲量は179トン(前年度の29%)で、昭和58年度以降で最低の水準となった。マアジは前年度の68%の535トンであった。サバ類は好漁であった前年度の水準から大きく落ち込み、278トン(前年度の33%)となった。

表3 要魚種の漁獲量（トン）の年変化
（昭和58定置年度以降）

定置年度	マイワシ*	マアジ	サバ類
58	1,599	91	584
59	306	63	563
60	298	110	1,313
61	483	634	655
62	446	179	542
63	612	377	980
1	1,146	385	301
2	872	853	317
3	666	644	148
4	689	1,253	654
5	807	1,312	1,010
6	379	306	255
7	350	1,199	410
8	621	792	845
9	179	535	278

*「マイワシ」と「イワシ類」の合計値

関連報文

三重県：平成9定置年度三重県ブリ定置漁獲統計, 1999